



ご当地 上場.com 茨城

No.644

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

April

2023
令和5年

4

茨 歯 会 報



Contents

デンタルアイ	1
大字 崇弘	
理事会報告	3
会務日誌	4
学術委員会だより	8
専門学校だより	11
スポーツ歯科委員会だより	14
ピンクのエプロン	16
池田 明美	

表紙写真について

笠間市にある大池公園の桜です。川沿いに植えられた桜が満開になると、とてもきれいですが、夜はライトアップされてまた違った雰囲気になります。今年は暖かいので、去年より早く桜が見られそうです。

(社) 東西茨城歯科医師会 石本 崇子

DENTAL eye

歯科衛生士不足との 決別への一步



副会長
大字 崇 弘

日本の人口減少に歯止めが掛かりません。

2007年、茨城県には134校の高校があり84,084人の高校生がいましたが、2022年には117校、生徒数は70,422人と、この15年で約16%減少しました。本校に限らず大学・専門学校では定員を満たすのに大変苦慮しており、全国の歯科衛生士養成校の約4割が定員割れとなっています。

本校でも毎年4月に、入学定員の確保に向けて入学案内を会員の先生方にお届けし、スタッフや患者さんとそのご家族に本校をご紹介いただいています。また県下の主な高校に郵送し、更に本校に入学実績がある高校には教員、役員が直接持参して本校入学についてご協力を仰いでいます。

歯科衛生士という職業

高校訪問をし、進路担当の先生と直接話をし感じたのは、学生から進路相談をされる先生方に、歯科衛生士という職業についての知識がほとんどないということでした。お送りしたパンフレットをしっかりと読んでもらえればわかる話ではあるのですが、それぞれの高校には卒業生数をはるかに上回る大学・専門学校の入学案内や、会社からの就職案内が届くということ

でした。残念ながら歯科衛生士という職業が進路相談の先生の日にとまらなければ、学生をご紹介いただけるはずがありません。

進路を意識するのは中学生から

本校歯科衛生士科の入学試験の面接で、受験生の多くが中学生の頃に漠然と歯科衛生士という職業に対するイメージができ、高校1～2年で具体的に進路として意識し始める人が多いことに驚かされました。高校3年生になって進路を考えるのではないということです。そういう意味では早期に歯科衛生士を知ること、進路の相談相手である先生や家族、先輩や友人に歯科衛生士という職業が認知されアドバイスを受けることがとても重要となります。

そのために、小・中学校の学校歯科医の先生には、学校保健委員会等に出席した折に、歯科衛生士という職業を先生やご父兄にご紹介下さい。子供達の職業認知への種まきともいえる大切な作業に是非ともご協力をお願いします。

先生方の地元からDHを

本校は水戸にあるため、本校の学生は主に水戸以北の地区が多くなっており、残念ながら県の西部や南部地区の会員の先生方に卒業生をデ

リバリーするにはなかなか至りません。歯科医師会立の専門学校として、輩出する学生に地域格差があるのは如何なものかというご意見があることは承知していますが、本校がいくら定員を満たし大勢の学生が入学したとしても、地域的な格差の解消は難しいと思われま

す。しかしながら現在、茨城県内には本校を含む4校の歯科衛生士養成学校があります。入学定員は4校合計で180名となっておりそのすべてが定員を満たすようになれば10年で1,800人の歯科衛生士が生まれることになります。地域格差なく歯科衛生士が行き渡る未来を造るためには、本校だけでなく他の県内3校と一緒に歯科衛生士を生み出し、県内むらなく供給することが重要と考えられます。

そのためには会員の先生方から地元の高校生に向けて歯科衛生士という職業について情報発信することが、長年続く歯科衛生士不足を解消するキーになるものと考えられます。

では具体的に何をやるか

～健診こそ最大のチャンスなり～

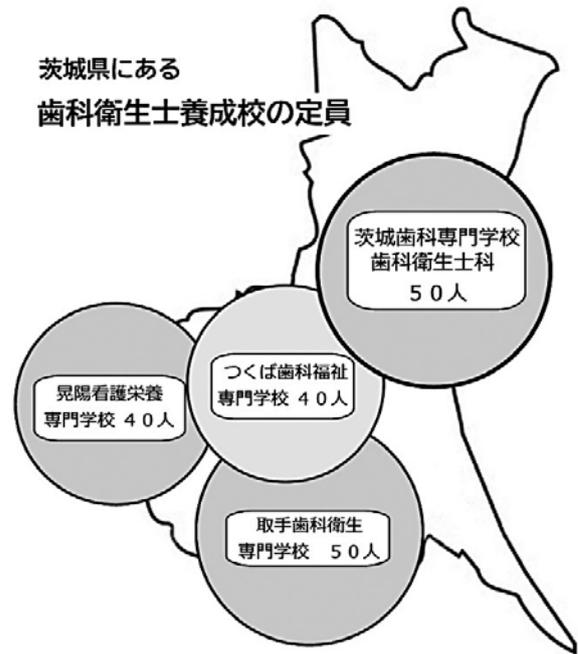
私たち学校歯科医は、学校健診の際に直接学校長や進路指導の先生と話す機会があります。これは他の学校に比べると大変大きなアドバンテージであり、これを活かさない手はありません。

主な高校には本校の入学案内を送付していますので、学校歯科医の先生は、健診の時に以下の2つのことをお願いします。

- オープンキャンパス、体験入学のポスターを校内に掲示して頂く
- 歯科衛生士を職業とする魅力について一言添える

進学先は本校だけにこだわらず、会員の先生方の地元の学生が行きやすい歯科衛生士養成学

茨城県にある 歯科衛生士養成校の定員



校を、近隣他県も含めご提案ください。そしてその際には以下に挙げるような、歯科衛生士という仕事の魅力を一言添えてください。

- 就職率100%
- 求人倍率20倍
- 初任給は大卒と変わらない
- 国家資格なので日本全国どこでも働ける
- 結婚・出産後も復職しやすい
- 勤務時間が安定しておりプライベートとの両立がしやすい
- 給付型、貸与型など各種奨学金制度が充実している

まずは会員の先生方の地元で歯科衛生士を増やすことが、長年続く歯科衛生士不足を解消する最も効果的な手段になることと思います。

学校健診に行かれたときの会員の先生方一人一人のご協力の先に、茨城県内隅々の歯科医院に歯科衛生士が豊富に充足される未来があります。どうぞよろしくお願いします。

理事会報告

第11回理事会

日 時 令和5年2月16日（木）午後4時

場 所 茨城県歯科医師会館 会議室

報告者 柴岡 永子

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 監査報告
4. 連盟報告
5. 報 告

- (1) 一般会務報告
- (3) 開業予定の歯科医院について
- (4) 疾病共済金の支払いについて
- (5) 小学校口腔衛生推進事業に係る意向等調査について
- (6) フッ化物洗口漫画本の配布について
- (7) 市町村医療福祉費支給制度（市町村単独事業分）の対象範囲の拡大等について【つくばみらい市、五霞町】
- (8) 市民公開講座に対する後援名義の使用について【茨城県作業療法士会】
- (9) 日歯広報コラム「都道府県通信」の執筆について

- (10) 日本補綴歯科学会東関東支部2022年度学術大会について
- (11) 第31回日本医学会総会2023東京の開催案内について
- (12) 各委員会報告について
広報委員会、地域保健委員会、社会保険委員会、専門学校、フッ化物洗口プロジェクト委員会
- (13) その他

5. 協議事項

- (1) 第59回いばらき看護の祭典への後援について
承認
- (2) その他
・オンライン資格確認猶予期間について文書で会員に周知。
地区会長、医療管理委員会にデジタル申請が出来ない方へ対応依頼。

【今後の行事予定について】

- 3月12日（日）
8時40分から 第31回茨城県歯科医学会
- 3月23日（木）
15時から 第12回理事会
17時から 第2回地区会長協議会
終了後 アイ・デー・エス臨時総会
- 4月20日（木）
16時から 令和5年度第1回理事会

会務日誌

- 2月16日 県学校保健・学校安全研究大会が県庁講堂にて開催され、よい歯の学校などの学校保健・学校安全関係表彰の後、実践発表が行われた。なお、席上、吾妻周一氏（桜川市）ほか18名が県学校保健会長表彰を受けられた。
- 出席者 榊会長
- 2月16日 第4回業務・会計監査を執行。業務並びに制度に関する監査（12月1日～1月31日）、会計に関する監査（収支現況）を実施した。
- 出席者 野堀監事ほか6名
- 2月16日 第11回広報委員会を開催。会報3月号の校正・編集作業及び未達原稿の確認、フッ化物洗口別冊送付状の校正、日歯広報コラム都道府県通信、レディースコーナーについて協議を行った。
- 出席者 柴岡広報部長ほか5名
- 2月16日 第11回理事会を開催。第59回いばらき看護の祭典への後援ほかについて協議を行った。
- 出席者 榊会長ほか16名
- 2月16日 第3回選挙管理委員会を開催。会長予備選挙立候補者の資格審査、役員選挙、日本歯科医師会代議員・予備代議員選挙について協議を行った。
- 出席者 堀江選挙管理委員長ほか9名
- 2月17日 第135回都道府県会長会議が日歯会館にて開催され、時局対策ほかについて協議が行われた。
- 出席者 榊会長
- 2月19日 口腔ケア講習会を牛久市「中央生涯学習センター・文化ホール」にてハイブリッド形式で開催。「口腔健康管理の基礎」の演題のもと、歯科衛生士による実技指導を交えて、拝野俊之介護保険委員が講演を行った。
- 受講者 31名
- 2月20日 第10回学術委員会をWEB会議として開催。第31回茨城県歯科医学会の開催、第32回茨城県歯科医学会県民公開講座講師、次回学術シンポジウムの日程及び講師、日歯生涯研修セミナーについて協議を行った。
- 出席者 鶴屋副会長ほか11名
- 2月21日 県肝炎対策協議会がWEB会議として開催され、肝炎対策指針の改定ほかについて協議が行われた。
- 出席者 村居常務
- 2月21日 茨城県後発医薬品使用促進検討会議がWEB会議として開催され、本年度の取組み及び次年度の事業計画について、協議が行われた。
- 出席者 北見常務

- 2月22日 災害歯科保健医療連絡協議会が日歯会館にて開催され、災害歯科保健医療チーム養成支援事業、JDATのロゴマーク、都道府県災害歯科保健医療連絡協議会規則案（ひな形）について協議が行われた。
出席者 村居常務
- 2月22日 歯科特殊健診認定講習会をハイブリッド形式で開催。第1部入門編、第2部継続登録編の2部構成にて講演を行った。
受講者 120名
- 2月24日 日本歯科医学会第109回評議員会がWEB形式で開催され、学会務運営について協議が行われた。
出席者 榊日本歯科医学会評議員
- 2月24日 茨城県糖尿病対策検討部会がWEB会議として開催され、県の糖尿病対策及び第7次保健医療計画の進捗状況及び次期医療計画策定に関する国の動向について、協議が行われた。
出席者 北見常務
- 2月26日 介護保険講習会をハイブリッド形式で開催。「最期まで“その方らしさ”を叶えるための口腔ケアを目指して」と題して日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座専任講師の遠藤眞美先生が講演された。
受講者 47名
- 2月28日 都道府県地域保健・産業保健・介護保険担当理事連絡協議会が日歯会館で開催され、歯周疾患検診の受診率向上に向けて、職域における歯科口腔保健活動の推進について協議が行われた。
出席者 北見常務ほか1名
- 2月28日 第2回県医療審議会医療法人部会がWEB形式で開催され、医療法人の設立等について協議が行われた。
出席者 榊会長
- 2月28日 第2回県医療審議会保険医療計画部会がWEB開催され、届出により一般病床を設置する診療所の承認について審議が行われた。
出席者 榊会長
- 3月 1日 県子どもを守る110番の家ネットワーク会議が県庁9階講堂にて開催された。
出席者 柴崎理事
- 3月 9日 茨城歯科専門学校において卒業式を挙行。歯科衛生士科45名、歯科技工士科7名の学生が本校を卒業した。
- 3月 9日 第2回県へき地医療支援計画策定会議がWEB会議として開催され、令和4年度へき地医療支援機構事業実施状況ほかについて協議が行われた後、2題の講演が行われた。
出席者 今湊常務
- 3月11日 日本補綴歯科学会東関東支部第2回理事会がWEB会議として開催され、令和5年度以降の日本補綴歯科学会東関東支部総会・支部学術大会ほかについて協議が行われた。
出席者 今湊常務

- 3月11日 第7回医療管理委員会を水戸市内で開催。医療安全講習会、次年度復職支援講習会の内容、スタッフセミナーについて協議を行った。
出席者 大字副会長ほか11名
- 3月12日 第31回茨城県歯科医学会を開催。WEB受講という形で一般口演、ポスター発表と公開講座、茨城県女性歯科医会による企画プログラムのみに規模を縮小しての開催となった。
参加者 (会場) 95名 (WEB) 120名
- 3月12日 第11回学術委員会を開催。第31回茨城県歯科医学会の反省、令和5年度生涯研修セミナー、スキルアップセミナー、学術シンポジウムについて協議を行った。
出席者 今湊学術部長ほか10名
- 3月14日 入退院支援連携マニュアル作成WG第3回会議がWEB会議として開催され、マニュアル作成における協議が行われた。
出席者 小野寺常務
- 3月15日 第11回社会保険正副委員長会議を開催。第11回委員会、審査、理事会、疑義、関東信越歯科医師会審査委員連絡協議会、「保険部だより」について協議を行った。
出席者 大野社会保険部長ほか3名
- 3月15日 第11回社会保険委員会を開催。疑義、「保険部だより」について協議を行った。
出席者 大野社会保険部長ほか20名
- 3月15日 地域ケア推進センター第7回連携会議がWEB会議として開催され、一般社団法人コミュニティヘルス研究機構長・理事長の山岸暁美氏の講演の後、意見交換が行われた。
出席者 小野寺常務
- 3月16日 第3回講師会を開催 (WEB参加も可能)。進級判定及び単位認定、特待生の選考等について協議を行った。
出席者 堤副校長ほか14名 (内WEB参加8名)
- 3月16日 第199回日歯代議員会が日歯会館にて開催される (~17日)。令和5年度事業計画の件、役員報酬等の総額及び役職別の報酬等の改定、入会金及び会費の額の件、収支予算の件、資金調達及び設備投資の見込みの件について議事が行われ、その後時局対策について協議が行われた。
出席者 榊日歯代議員ほか2名
- 3月16日 第12回広報委員会を開催。会報4月号の校正・編集作業及び未達原稿の確認、次年度会報誌ファイルの色選定、フェイスブック掲載、レディースコーナーについて協議を行った。
出席者 柴岡広報部長ほか3名
- 3月18日 第1回介護保険委員会を水戸市内で開催。次年度事業実施計画ほかについて協議を行った。
出席者 小野寺介護保険部長ほか9名
- 3月19日 介護保険講習会をハイブリッド形式で開催。「口腔機能の低下に関する最近の話題」と題して北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野高齢者歯科学教室 准教授の渡邊裕先生が講演された。
受講者 40名

3月21日 第9回JMAT茨城研修会が県医師会にて開催された。参加者を5つのグループに分かれて2題の講義の後、J-SPEEDの実習等が行われた。

出席者 村居常務ほか5名

3月22日 日学歯第107回代議員会が日歯会館にて開催され、令和5年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込み、議事運営特別委員会委員の選任の件について議事が行われた。

なお、席上、櫻井均氏（取手市）ほか3名が日学歯会長表彰を受けられた。

出席者 榊日学歯代議員ほか1名



株式会社岩瀬歯科商会 と 株式会社ウチャヤマ は ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社 に社名変更いたしました

ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社

事業所案内

宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷1504-4	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11 1F	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市磯子区中原2-1-19 1F	TEL:045-770-4182
前橋支店	高崎市京目町176-2	TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡上堂支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
盛岡本宮支店	盛岡市本宮6-24-43 1F	TEL:019-635-7750
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770
つくば営業所	つくば市花室940-6	TEL:029-863-0720
仙台支店	仙台市若林区荒井5-7-6	TEL:022-794-7066

改めまして、私たちはヘンリーシャインジャパンイーストです！

We try best! -for healthy and white teeth-



第31回茨城県歯科医学会が開催されました

学術委員会 今村 由紀

2023年3月12日（日）茨城県歯科医師会館にて第31回茨城県歯科医学会が開催されました。コロナ禍前の茨城県歯科医学会は例年水戸プラザホテルを会場とし、一般口演やポスター発表のほか、県民公開講座、各委員会企画や併催として茨城デンタルショーが行われていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため、第29回からは茨城県歯科医師会館での規模を縮小した開催となっています。今回も、茨城県歯科医師会館での講演を一般会員向けにライブ配信するハイブリッド形式で、一般口演、WEBでのポスター発表、県民向け公開講座、



来賓紹介（歯科衛生士会、歯科技工士会）

茨城県女性歯科医会による企画プログラムが行われました。会館ロビーには協賛企業「グラクソスミスクライン（ヘイリオン）」「サンメディカル」の製品が展示されました。

奇しくも学会翌日の3月13日からは、マスク着用が「個人の判断に委ねる」と変更されることが政府から発表されていましたが、前日であるこの日はこれまで同様、出席者にはマスクの着用をお願いし、受付での検温や手指のアルコール消毒などの感染対策を行って臨みました。

開会式は阿部英一学術委員長の司会にて進行し、今湊良証実行委員長の開会の辞、榊正幸会長の挨拶、来賓の紹介とご挨拶（茨城県歯科衛生士会会長 岩村昌子様、茨城県歯科技工士会会長 瀬谷公子様）が行われました。

開会式後、午前中は24題の一般口演が会場で行われ、同時にWEB配信されました。また、8題のポスターが茨城県歯科医師会ホームページにて期



開会の辞を述べる今湊良証常務



榊正幸会長の挨拶



茨歯学会初となるつくば市職員による口演発表



公開講座で講演する弘中教授



一般口演発表



女性歯科医会企画で講演する今井先生

間限定で会員向けに公開されました。一般口演では多数の口腔外科症例のほか、矯正歯科、障害者歯科、医科歯科連携、鎮静下歯科治療、保存療法、CAD/CAM、病院歯科など幅広い分野からの発表が行われました。宇都宮市歯科医師会、技工士会、衛生士会や行政（つくば市）からのご発表もあり、それぞれ活発な質疑応答が行われ、大変充実した内容となりました。

昼休憩の時間には、協賛企業2社からのプレゼンテーションがあり、各社の新製品などが紹介されました。

午後からは県民向けの公開講座、茨城県女性歯科医会による企画プログラムが行われました。

公開講座は昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門教授、弘中祥司先生から「今、子供たちの口の機能が危ない！ー口腔機能発達不全症の評価と対応ー」と題したご講演を頂きました。前半は県民向けの講座として、10代の半数近くに認められる「口腔機能発達不全」に

についてのご説明がありました。一般の方にわかりやすく説明するためのキャラクター「ハビルちゃん」の紹介や、上手に食べることができるお口になるために授乳期から気を付けたいことなどをお話いただきました。「歯」という単なるパーツだけでなく、「食べる」「話す」「息をする」などの機能を営むための「口」という器官を診る専門家として、歯科医療従事者に相談してくださいとお話でした。県民向け講座は3月18日から4月9日までWEB配信されます。

弘中先生のご講演の後半は、歯科医療従事者向けに、平成30年から新設された「小児口腔機能管理加算」の算定方法につきましてご説明頂きました。口腔機能発達不全症が疑われる小児が増加していると言われてはいますが、実際にどのように診断をして保険算定をしたらよいのか、具体的な事例を挙げて教えて頂きました。

茨城県女性歯科医会主催の企画プログラムは、獨協医科大学名誉教授、今井裕先生から「明日の

「歯科医療に繋がる医療安全を学ぶ」と題し、歯科における感染対策、医療事故における安全対策、偶発症に対する緊急時の対応など、歯科医院で必ず知っておかなくてはならない知識について、盛りだくさんの内容をぎゅっと濃縮してお話し頂きました。新型コロナの感染拡大により、感染対策に大変注目が集まる中、感染予防の基本的考え方や本当に必要な対策を改めて教えて頂きました。当講演は「歯科外来診療環境体制加算」施設基準届出要件の研修に該当し、受講者には修了証が発行されました。

第20回福田賞は、茨城県南歯科医師会の廣畑広実先生が受賞されました。最後に今渡良証実行委員長らの講評・閉会の辞にて終了しました。



福田賞を受賞された廣畑先生

今学会は昨年同様、1日を通して会場とWEBでのハイブリッド開催となりました。会場参加95名、WEB参加120名と、たくさんの会員の方々にご参加頂きました。WEBを利用した学会開催が一般的となり、今年も全てのプログラムを滞りなく開催することができましたが、参加者の音声や画面が混ざってしまうなどの、WEBならではの小さなトラブルも散見されました。

マスクの着用が任意になり、今年の5月には新型コロナウイルスが5類に移行されることが決まりました。来年度からは以前の規模での現地開催を行うことができる可能性が高いかと思えます。ひとつの会場にたくさんの先生方が集まって様々な企画にご参加頂いたり、実際に顔を合わせて議論を行うこ



会場には演者も含め95人が参加した

とが出来るというメリットはWEB受講では得難いものがあります。一方でWEBでの開催にも、遠方であったり、育児・介護などの事情で現地参加が難しい先生方にもご参加頂けるという大きな利点があることがわかりました。今後の学会開催の在り方につきましては、これから様々な検討が必要かと思えます。

学術委員会では、これから第31巻茨城県歯科医学会誌を編集し今秋に発刊予定です。一般口演、ポスター発表、公開講座、企画プログラムの事後抄録は第31巻の発刊をお待ち下さい。次回の演題申し込みは学会誌の「第32回茨城県歯科医学会のご案内」演題募集要項をご覧ください。併せて、投稿論文も受け付けています。

次回の第32回茨城県歯科医学会は来年3月24日(日)水戸プラザホテルにて開催予定です。会員の皆様よりご意見、ご要望を承り、より一層充実した開催が行われますよう祈念しております。会員の皆様のご発表、ご参加、ご協力を是非ともお願い致します。

※一般県民向け前半講演は3月18日から4月9日の期間限定でオンデマンド配信されます。





【歯科技工士国家試験】

令和5年2月19日（日）全国統一歯科技工士国家試験が日本歯科大学生命歯学部において実施されました。

今年の受験生7名は入学してから受験当日まで常にコロナ感染が心配される状況での学生生活でしたが、そのような中でも、入学後誰一人感染することなく勉学に励み、本番を迎えることができました。



国家試験会場前にて（試験前日）



大字校長のエールを受けて（試験当日）

ました。前日には緊張を抱えながら試験会場近隣のホテルに宿泊しましたが、試験当日の朝、駆けつけてくださった大字校長からの優しいエールと見守りがあったことで安心した様子で試験会場に入りました。そして体調も問題なく、実地試験、学説試験とも落ち着いて臨めたようでした。

合格発表は3月24日（金）14時となっております。7名全員が2年間の学習成果を合格という形で残すことができると祈っております。

そして、免許取得後は各々の場所で歯科技工士として歩み出すこととなりますが、2年間学んだ歯科技工の基本を忘れず、臨床の場で技術を磨き、歯科技工士として長く活躍し続けることを期待しております。

（文責 中村）

【第32回歯科衛生士 国家試験】

令和5年3月5日（日）に第32回歯科衛生士国家試験が大妻女子大学（東京都）で実施されました。

前日に本校を出発し、試験会場となる大妻女子大学へ向かうバスの中では問題を出し合う姿が見られました。ホテルに到着後は各々が部屋で明日の試験に備え寸暇を惜しんで知識の確認をしていました。

試験当日の朝は、大字校長をはじめ堤副校長、小澤教務副部長、「組織・発生学」「病理学」「口腔病理学」の講師である東京歯科大学の橋本貞充先生から激励の言葉をいただき全員が士気を高め試



大字校長の激励を聞く3年生

験に臨むことができました。試験終了後には、学生の安堵の表情を見て、実力を発揮できたことを感じました。3月24日（金）の合格発表では全員が合格することを願っております。

今後は、歯科衛生士として新生活がスタートします。本校で学んだ3年間で得たことを基に活躍してくれることを期待したいと思います。

（文責 佐々）

【令和4年度卒業式挙行】

喜びと期待を胸に

3月9日（木）午前10時より茨城県歯科医師会館講堂で、卒業生を含む関係者約130名を集め、茨城歯科専門学校卒業式が挙行されました。

今回も前年と同様に、新型コロナウイルスの感染予防のため規模を縮小しての開催となりました。



卒業証書、記念品の授与

本年度の卒業生は歯科衛生士科45名、歯科技工士科7名です。

式は堤浩一郎副校長の司会により進められ、校歌斉唱に続き、小澤永久教務副部長（歯科衛生士科）野口知彦教務副部長（歯科技工士科）が卒業生の氏名点呼を行い、大字崇弘校長から一人ひとりに卒業証書、記念品が授与されました。

次いで成績優秀者・無欠席者・特待生の表彰が行われました。

◇成績優秀賞

（歯科衛生士科）白土優美さん
木名瀬愛美さん
萩野谷妃奈さん

（歯科技工士科）寺田あこさん
仙波萌さん

◇皆勤賞

（歯科衛生士科）木名瀬愛美さん他8名
（歯科技工士科）鈴木菜留さん
小室飛翔さん

◇特待生褒賞

（歯科衛生士科）白土優美さん
（歯科技工士科）寺田あこさん

以上の表彰者に表彰状と記念品が授与されました。

次に大字崇弘校長が式辞を「卒業後の進路は、皆さん異なりますが、それぞれの職場でのこれからの研鑽は、皆さんの将来にとって大変重要な事となります。単に技術の習得ばかりではなく、患者さんと心から触れ合える、痛みのわかる歯科衛生士、歯科技工士になってください。今日の感動を忘れず、真摯な心で、常に正しく、志高く邁進することを希望してやみません。卒業生の皆さんが、幸多き人生を歩まれることを祈念し、式辞といたします。」と述べられ、その後の榊正幸名誉校長の訓辞では「コロナ禍の制約だらけの2年間、3年間だったと思います。しかし、この経験を逆

に捉え、良い経験として今後の糧にして頂きたい
 と思います。今後は専門技術職としてキャリアが
 スタートします。考える力、実践する力を社会を
 通じて学び、歯科医療現場で自ら考えて行動でき
 る力を、より一層身に付けてください。皆さんの
 今後のご活躍を期待しております」とはなむけの
 言葉が送られました。

次に、特別表彰として、表彰者が紹介されました。

—特別表彰—

◇いばらき専門カレッジリーグ賞

(歯科衛生士科) 綿貫莉子さん

(歯科技工士科) 郡司野乃子さん

◇日本歯科衛生士会長表彰

学術優秀賞 (歯科衛生士科)

坂場かおりさん

◇日本歯科技工士会長表彰

学術優秀賞 (歯科技工士科)

仙波萌さん

その後、在校生代表の山口愛奈さんの「人々に
 愛される歯科衛生士、歯科技工士になって私たち
 の模範でいて下さい」と心のこもった送辞を受け
 て、卒業生を代表して榎村京香さんが感謝の言葉
 とともに「立派な歯科衛生士、歯科技工士になる
 ことを誓います」と答辞を述べました。



送辞を述べる山口愛奈さん



答辞を述べる榎村京香さん

最後に、卒業生代表の萩野谷妃奈さんからの記
 念品贈呈で式は終了し、記念撮影ののち、卒業生
 や関係者は謝恩会会場「フェリヴェールサンシャ
 イン」に向かいました。

(文責 渡邊)





「世界に羽ばたくトップアスリート育成事業」における スポーツ医科学プログラム実施報告

(社)いばらきスポーツ・健康づくり歯学協議会運営委員会 平井 豊

去る2月5日(日)、歯科医師会会館にて行った「世界に羽ばたくトップアスリート育成事業」におけるスポーツ医科学プログラムについて報告します。

この事業は、茨城県と茨城県スポーツ協会が国内外で活躍するトップアスリートを茨城県から輩出することを目指し、ジュニアアスリートの発掘・育成を中心とした競技力の向上を図る事業で、茨城国体を契機に令和2年度に始まりました。毎年県内の小学4年生から、敏捷性や瞬発力など基礎的な運動能力が優れた男女30名程を選抜し、4年生から6年生までの間、プロチームや大学、各種団体などと連携し、効果的なトレーニング方法、アスリートに必要な栄養学などの学習、様々な競技の体験等の育成プログラムを集中的に実施し、トップアスリートを目指すための知識や能力の向上を図る事業です。この事業の先進県である岩手県では平成19年に始まり、スキージャンプ競技の小林陵侑選手など多くの代表選手を輩出しているそうです。いばらきスポーツ・健康づくり協議会運営委員会(以下、SHP)では、令和3年度より医科学部門の一部を担当しており、今回は2回目の実施となりました。

当日は、茨城県スポーツ協会の運営のもとに行われ、ジュニアアスリート育成選手第3期生26名、保護者29名が参加し、講演ならびに歯科健診・ブラッシング指導を行いました。講演は荻野義重



ジュニアアスリート育成プログラム バナー看板



講演する荻野委員長、柴岡委員

SHP委員長による「スポーツと歯のかかわり」、柴岡永子SHP委員からは、「ブラッシングについて」を話されました。荻野委員長からは、口腔内ケアの重要性、マウスガードの効果、製作法などについての講演で、特に東京オリンピック女子ハードル代表の寺田明日香選手が、矯正治療を行うなど口腔内のケアを大事にしていた話には参加者も興味があるようでした。

その後、1階の実習室に場所を移し、育成選手の歯科健診、口腔内写真撮影、保護者を交えてのブラッシング指導、歯科相談を行いました。昨年度は体育館での実施だったため、健診と簡単な相談しかできず、参加者の待機時間が長くなる結果になりましたが、今回は、ユニットに育成選手と保護者が待機し、SHP委員8名が巡回する形で進めた結果、個別の指導、相談にも対応ができ参加者にとっても有意義なプログラムになったかと思われまます。スポーツ協会からは来年度は対象者を増やしたいとの話もあり、いばらきスポーツデンティストの先生からの協力を考えております。

今後は健診結果をまとめ、選手の活躍の一助となるプログラムに繋げ、将来、この事業から、オリンピックメダリストや日本代表選手が生まれることを祈るばかりです。



口腔内写真撮影の様子

原稿募集

身近な出来事から臨床まで皆さまのご意見・感想を載せてみませんか。

「茨歯会報」は会員皆さまの会誌です。臨床におけるヒントや趣味、旅の思い出など、また地区歯科医師会や同好会・同窓会の様々な活動（研修会、厚生事業）など何でも結構です。会報をフルにご活用下さい。

Eメールの投稿で結構です。形式はどんな形式でもかまいませんが、出来ればテキスト、ワード、一太郎、にてお送り下さい。原稿提出の締切は、毎月18日の17:00までとなっております。何卒ご了承のほどよろしくお願いいたします。

詳しくは、茨歯会事務局まで。

E-mail id-05-koho@ibasikai.or.jp

広報委員会



〒310-0911 茨城県水戸市見和2-292
 公益社団法人
茨城県歯科衛生士会
 TEL・FAX 029-253-5807
<https://ibaraki.jdha.or.jp>
 E-mail jimmu@ibaraki-dh.net

(公社)茨城県歯科衛生士会 県西支部 池田 明美

新型コロナウイルス感染の影響を受け、各市町の乳幼児健診も感染防止対策で体制が様々になりました。集団によるむし歯予防の講話がなくなり、非接触指導や時間制限の個別指導に移行して個々が受ける基本的な指導法は怪訝に思えました。

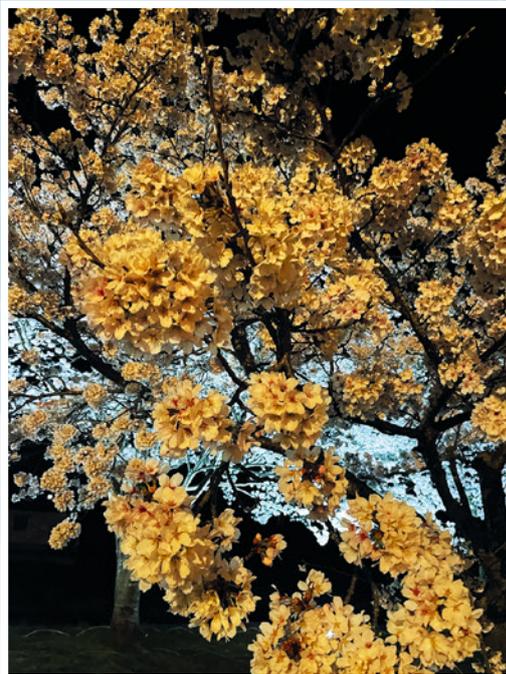
このような中、短時間で充実した歯科指導を行うため一役立ったのが『歯磨き剤フッ素濃度ガイド』一覧表でした。この表は年齢別にどの歯磨き剤を選び使用量の目安など一目でわかりやすく特に外国の方は言葉が通じなくてもこの表がある

とほとんどの方が理解しやすいように思えました。保護者の方がお子さんの歯磨き剤を選ぶ要因はキャラクターや味、価格で、肝心なフッ素濃度や年齢別応用量までほとんどが把握されて無かったです。

口腔内の環境を整える要因は多々ありますが、安定した情報を公平に提供でき、みなさんにわかりやすい歯科保健指導に繋げていけるよう日々スキルアップを心がけたいと思います。

みんなの写真館

Photo
Gallery



(社)東西茨城歯科医師会 石本 崇子

会 員 数

令和5年1月31日現在

地 区	会員数(前月比)
日 立	115
珂 北	142
水 戸	158 ±1
東西茨城	72
鹿 行	102
土浦石岡	175 -1
つ く ば	143
県 南	174
県 西	153 -1
西 南	97
準 会 員	10
計	1,341 -2

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員	1,112名
2種会員	86名
終身会員	133名
準会員	10名
合計	1,341名



Ibaraki Dental Association
公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 令和5年4月
発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地の1
電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075
ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>
E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進
編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。